

広島県中小企業団体中央会 2016年3月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

3月の出荷量は前月比20.2%増加、前年同月比8.2%増加、売上高は前月比15.8%増加、前年同月比7.2%増加となった。昨年度より出荷量は増加しているが、好況なわけではなく、昨年悪かったものが下げ止まっているだけである。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成28年2月の全国の住宅着工戸数は72,831戸で、前年同月比では7.8%増加、また、季節調整済年率換算値では97.4万戸（前月比11.6%増加）となった。利用関係別では、持家は20,984戸で前年同月比0.8%増加、貸家は28,871戸で前年同月比12.5%増加、分譲住宅は22,404戸で前年同月比9.6%増加となった。なお、木造住宅の着工数は38,605戸で、前年同月比7.2%増加となった。

住宅着工の動向は、一昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の影響から持ち直しが見られた後、ここのところ横ばい傾向であったが、2月は前年同月比で2ヶ月連続の増加となった。引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の着工戸数は1,432戸で前年同月比20.1%の増加となった。このうち、持家は413戸で前年同月比9.2%の減少、貸家は698戸で前年同月比41.0%の増加、分譲は315戸で前年同月比31.3%の増加となった。地域別では、広島市は着工戸数859戸で83.2%増加、東広島市は着工戸数125戸で43.7%増加となる一方、福山市は着工戸数153戸で33.5%減少、呉市は着工戸数63戸で23.2%減少となるなど、地域間でばらつきがあり、会員の一部からは、昨年末に景気がやや回復傾向にあったが、十分に経済対策が行き渡ったとは言えず、経営状況は依然厳しいとの声が多く、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

低金利が住宅購買意欲を高めているようで、受注状況は改善されている。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

景況は引き続き厳しい。前月に引き続き、組合員が減少した。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

株高、円安の状況にもかかわらず、国内の景況感の改善は感じられない。特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対して部品メーカーは国内生産台数減、プライスダウン要請、ベースアップを含む労務費の上昇に加えて労働人口の減少が加わり大変厳しい状況にある。円安になって久しいが、その効果には疑問を感じている。明らかに1ドル120円は行き過ぎではないか。さらなる円安を招くと景気低迷の中、来年の消費税率引き上げが行われると、物価上昇を招き、中小企業を中心に経営がさらに苦しくなる。また、海外においても中国株の下落や原油価格の不安定さなど不安要素が多々あり、今後の先行きは誠に不透明である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社微増の傾向にある。自動車関連企業は、3月は増加傾向にある。しかし、4月は減少向となる予定である。

円安の傾向及び原油安に伴うガソリン・重油等の価格安の傾向は、収益面で良い傾向にある。しかし、それに伴うコストダウン要請や春の賃金アップ等を考慮すると、経営環境は先行きが見えず、厳しい状況にある。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年3月 3,724m³ (対前年25.3%増加)

28年2月 3,418m³

27年3月 2,972m³

平成27年度の出荷量は、前年に比べると、6.32%減となり、2年連続で対前年比を下回った。需要については、上期出荷量は、前年に比べ、14.06%減少、下期出荷量は、広島土砂災害復旧工事等の出荷があり、前年に比べ1.43%増加となった。

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

引き続き貸倉庫や貸工場の問い合わせが月に数件ある。後継者のいない事業所が数件有り、今後が心配される。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、航空機関係のみ高操業で従業員募集の状況にあり、それに携わる協力会社各社は高操業が続いている。

タービン・コンプレッサ、製鉄機械、ゴムタイヤ機械は低操業の状況にあり、関係する協力会社も低操業が続いている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、スポット受注が入ったため、前月比5%増加、前年同月比10%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、少し生産が停滞気味であり、前月比2%減少、前年同月比2%減少となった。輸出物件が多少動いており、国内はスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

最低賃金を1,000円にとの議論がなされているが、実現されると電機業界の2次下請けは倒産してしまう。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。人材派遣会社の規制が必要だと思う。人材確保の課題が鮮明である。賃金の問題は深刻である。

輸送用機器

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

3月の国内自動車販売台数は全需が636千台、前年同月比8.6%減少と15ヶ月連続の前年割れと

なった。登録車は前年比3.2%減少と2ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は16.7%減少と15ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車は23.6%減少と6ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの2月の全需は1,344千台で前年同月比6.9%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同16.0%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の2月の全需は1,227千台で、前年同月比9.4%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車も同28.8%増加と9ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の2月の全需は1,667千台で、前年同月比4.6%増加。マツダ車は19.3%減少と13ヶ月振りの前年割れとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の2月の海外販売合計台数は92千台、前年同月比1.2%増加で32ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの2月の輸出動向については、輸出台数は、前年比22.9%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの2月の国内生産台数は、前年同月比11.7%増加と9ヶ月連続の前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年3月の船舶建造許可実績は4隻216,100総トン（前月2隻67,900総トン、前年同月12隻466,700総トン）であった。なお、4隻とも貨物船で全て輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

材料費の高騰により、収益性が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

リビング、ダイニング、ベッドは前年をクリアする予定である。デスクは、若干前年割れとなりそうである。組合員企業としては、前年並みから10%増加とバラツキがある。

5月17,18日に広島ショールーム巡回ツアーを企画している。4社のショールームに無料巡回車を提供し、新作商談会を実施。工場見学ツアーも実施する。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

3月は、日銀の短観や金融経済月報等では、景気は緩やかな回復とあるが、中小卸売業の経営環境は依然厳しいものがある。ただし、金利引き下げや石油製品の値下げはコスト軽減に寄与している。

「資材関連」においては、電力自由化や省エネ関連助成制度が開始され、需要の増加が期待される。

「食品」においては、3月の売上は、前年同月比横ばい、個人消費の伸びは期待できない。

「繊維」においては、3月は三寒四温の気候変化により、冬物は低調で、春夏物も伸びを欠いた。販売先小売店のバイヤーも仕入には消極的である。

「雑貨」においては、国内消費はやや落ち込んでいるが、中国からの引き合いが多く、売上をカバーしている。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

業界では、省エネ補助金や税制優遇措置等を活用するための省エネ提案を行い、成果に結びつけていきたい。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

国内産(九州) のい草作付面積が発表され、28年度産は531ha(前年比8%減)であった。減産の主な要因としては、他の農産物への移行や高齢化である。また古い設備の更新に係る経費がかさむことや製品販売価格が不安定であるなどの理由から転業・廃業も多い。国産畳表市場の価格安定が課題である。

一方、中国では日本国内の需要と供給のバランスから生産調整を行い、対前年比71.4%減の1,242haの栽培面積となった。苗を刈ったり、除草剤の散布で生産量の強制的な調整、粉塵対策が出来ない工場は廃業へと追いやられている。

国内外から見ても、今後畳表の需要増がなければ業界全体の微減は続くものと見ている。

小売業

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

今月は、前月比、前年同月比共に売上は増加した。昨年11月より、得意先が増加したことと、例年に比べて青果物が相場高で推移したことが、大きな要因である。先月、節分に鬼のぬり絵を企画し、今月もおひなさまのぬり絵を企画し、実施したところ、前回以上の成果が得られた。次回はこいのぼりのぬり絵を企画している。

彼岸の天気がよかったことで、遠出される方が多く、外出先で食事を済ませるか、街で買いものをされる方が多かったのか、中山間地区の店舗では、来店客数が減少した。

協同組合三次ショッピングセンター

イベント回数を増やし、集客では昨年を上回ったが、売上はわずかに減少した。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

3月度の販売実績は前年同月比3.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比5.7%減少、BDレコーダー同11.5%減少、音響・車載機器同22.4%減少、冷蔵庫同5.7%減少、洗濯機同2.0%増加、エアコン同1.4%減少、エコキュート同3.3%増加、IHクッキングヒーター同1.3%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

売上は依然としてやや低調に推移しており、商店街全体の景況感も小売店を中心に今期も横ばい又はやや悪いとの見通しを持つところが多い。

空き店舗の再利用に関して、障がい者養護施設が1ヶ所、飲食店が1店舗、新たに開設する予定である。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比7.3%増加、前年同月比0.3%減少。車検場収入は前月比6.7%増加、前年同月比0.7%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比27.5%増加、前年同月比14.2%の減少となってい

る。

昨年度を一昨年度と年間比較すると、車検台数は対前年比2%増加。車検場収入は対前年比2%増加。重量税・登録印紙の売上は対前年比1%増加となった。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大型物件は少なく、単月の売上増の状況であり、今後は厳しい状況が予想される。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

3月における工事受注件数は、前月比5.3%増加、前年同月比12.8%減少となった。

住宅着工件数の低迷に伴い、電気工事業の業績は下降傾向にある。日銀のマイナス金利政策による住宅ローン減税効果で、戸建新築住宅の増加を望んでいるが、思うように動いていないのが現状である。

神辺建設業協同組合

公共事業を中心に、若干労務費の向上が見られるが、まだ実勢価格との開きがある。民間投資も緩やかに下降気味である為、景気の先行きが不透明である。

運輸業

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

3月の荷動きは、前年同様、下旬に向かうにつれて荷物量は増え、第4週をピークに最終週は一気に下がる、決算月らしい動きであった。しかし、鋼材・鉄鋼関連は、やや足踏み感がある。要因としては、中国への輸出案件減少が考えられる。また、その他コンクリート関連、飲食関連も期待したほどの動きはなく、全体的に昨年同様の荷物量となった。心配された車両不足は決算月にかかわらず、それほど深刻な事態とはならなかったようである。目立った動きは引越業者で、例年以上の動きで、忙しさを見せていたようである。

軽油価格は、原油価格の値上がり、為替相場の変動も重なり、3円～5円/Lの値上げとなっている。4月も値上げとなる見込みである。

広島輸送ターミナル協同組合

期末を迎え、前年同月並みの売上は確保している。軽油価格も安定しており、収益面に寄与している。

松永地区トラック事業協同組合

3月は、年度末ということもあり、また、4月からの新年度に向けて人事異動等もあり、年間を通じて一番貨物が動く月である。しかし、これにあわせて車両を手配している会社はなく、自社車両で対応出来なければ同業他社に協力をお願いし、対応せざるを得ない状況である。平成2年の規制緩和以降、事業者の増加に伴う過当競争により、原価に見合った運賃収受が困難な状況は続いている。

軽油価格は、対前年同月比20円/L値下がりしているが、排気ガス等環境に対応した車両の導入などのコストは上昇しており、経営的には厳しい状態が続いている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比共に公的評価(相続路線評価)報酬料の振込が当月末にあり、やや好転している。不動産取引はやや低調であるが、取引価格は上昇傾向である。